

「讃岐緑想」は、香川県三豊市の父母ヶ浜の東側に位置する、2020年に開業したモデルハウス兼宿泊施設です。「生物多様性を育むビオガーデン」をコンセプトとし、地域の風景との調和を目指し、地域在来の多様な植物種を用いて庭づくりを行っています。

評価されたポイントは以下の通りです。

地域の生態系とのつながり

敷地総面積の約8割を緑地が占め、宿泊棟の周囲にはクロガネモチ、コマユミなど多様な在来樹木による生垣が配されています。植栽計画では、約50種の樹木のうち14種で近隣の三豊市・観音寺市で採種した地域性種苗を使用しています。また、その他の植物も瀬戸内地方の遺伝子を持つ苗を選定し、地域における生物多様性の保全に積極的に貢献しています。

地域景観との連続性を実現する工夫

敷地境界に設けた土塀は草土手として整備され、父母ヶ浜を象徴する海浜植物であるハマゴウやハマヒルガオなどが播種されることで、地域の生態系との連続性が確保されています。この取り組みは、地域固有の植生や景観との調和を強く意識したものであり、自然と一体化した空間を創出しています。



評価対象事業の位置



ハマゴウやハマヒルガオが播種されている
敷地境界の草土手



駐車場脇に設置された
ビオガーデンのコンセプトと JHEP 認証を
説明するサイン